



# 全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 竹内洋司／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎(03) 3263-0271  
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>



2020年度県代会議にて

# 迎春



新年明けましておめでとうございます。全消協会員の皆さんとそのご家族におかれましては、輝かしい年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

また、昨年来からの世界的な新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナウイルス)の感染拡大に伴う対応や、昨年も全国各地を襲った自然災害に対する対策など、地域住民が安全に安心して暮らせるために、昼夜・休日を問わず献身的に職務を遂行されている会員の皆様に、心から敬意を表します。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルスに振り回された一年であったといえます。国内においては、一時は落ち着いていた感染者数が昨年12月以降急激に増加し、本年1月に東京都をはじめとして「緊急事態宣言」が再発令されるなど、感染が拡大し続けています。また、このコロナ禍により、私たちの生活や働き方は一変し、全消協活動にも大きく影響しました。感染が拡大し始めた昨年2月以降、「ユーステップアップセミナー」や「研究集会」の開催を断念し、例年8月に開催している「定期総会」についても、全消協44年

の歴史で初めて書面会議とせざるを得ませんでした。この間、幹事会として、縷々検討をしてきましたが、日本の消防職員の代表たる組織としての責任ある対応、そして会員や家族、職場の仲間を守るとの考えもとの対応であったことをご理解いただきたいと思います。今後もコロナ禍における活動が余儀なくされることと想定されますが、現在、参集のみの開催にとどまらない方法を模索するとともに、コロナ禍だから出来る取り組みの展開に向け、様々な観点から検討をおこなっているところです。さらに、今後の取り組みや第44回定期総会を補完するため「拡大県代表者会議」の開催に向け対応を進めています。引き続き会員の皆様のご協力をお願いしたいと考えております。

他方、こうした中においても、5月には「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を、また12月には自治労消防政策議員懇談会事務局長である武内則男衆議院議員のご尽力により、「消防行政の充実強化に関する要望書」を、総務省消防庁に対して提出し我々現場で働く職員の生の声を届けることができました。さらに、自治労消防政策議員懇談会役員の方々と四役にて意見交換会を開催し、消防職場が抱える喫緊の課題を強く訴え、国政におけるの支援要請をしてきたところです。引き続き、職員が安心して職務に従事できる環境整備等に向けて取り組みを進めていきます。

を改善していくためには、労使双方が責任を持ち対等な立場で協議することが必要です。そのための重要なものが労働基本権です。現在、「ILO議長集約に係る定期協議」において、全消協も自治労と共に主体的に参画し、政府との協議を進めています。消防職員の団結権は未だ解決をみていません。しかしながら、連日のように報道されている通り、消防職場のパワハラ問題は後を絶ちません。

今まで以上に自治労・連合や関係団体と、より強固な関係を構築するとともに、PSI活動等を通じて、グローバルスタウンダードである、すべての公務労働者の労働基本権回復にむけた取り組みを継続し、働く者の尊厳を守るような活動を推し進めていきます。

そのためには、現場職員の声をもっと大きなものへとする必要があります。自らの組織の強化・拡大を一層推進し、未組織消防への働きかけを含む一人でも多くの仲間と結集していただき、国民が安全に安心して生活するための消防行政確立と、命を守るはずの消防職員が、自らの命を絶つということを絶対に阻止し、明るく働き甲斐のある職場づくりをめざしていきたいと思っております。

全国の多くの仲間の全消協への結果をお願いするとともに、各地でのさらなる取り組み強化、そして会員の皆様のご家族のご多幸を心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

全国消防職員協議会  
会長 村上 直樹

# 現場の実態を踏まえた消防行政の充実強化にむけて 総務省消防庁へ定例の要望書を提出

2020年12月2日、総務省消防庁に対し、「消防行政の充実強化に関する要望書」を提出した。

全消協からは村上会長以下四役が出席し、自治労の大嶋強化拡大局長、武内則男衆議院議員にも同席いただいた。総務省消防庁からは、石山消防・救急課長ほか3人が出席した。

冒頭、要望書を手交したのち、①緊急消防援助活動等（山出動手当や旅費、日当等で格差が生じることのないよう助言。派遣元消防本部の消防力が低下しないよう必要人員の確保など）、②新型コロナウイルス感染症対策について（感染防止資器材の確保や必要な情報提供。傷病者の迅速な搬送体制を確立するよう助言。搬送傷病者が感染症と診断された場合の情報提供体制の確立。当該業務に関わる消防職員にも防疫等作業手当等が適切に支給されるよう必要な助言。メンタルヘルス対策など）、③消防行政の充実と労働安全衛



生体制の構築について（必要な人員を充足する財源を確保。労働安全衛生対策をより一層強化。熱中症や防寒対策など装備品等の財源の確保など）、④働きやすい職場環境の整備について（ハラスメントについて必要な対策。男女ともに仕事と育児・介護を両立できる必要な対策）、⑤広域化について（職員の視点・意見を踏まえ課題を解消するよう助言など）、⑥その他労働条件に関する事項について（公平・公正、透明性の高い人事評価となるよう助言。消防職場の再任用の実態を引き続き調査し検討し具体的な事例等の提供など）、⑦消防職員との協力の継続・推進（継続的な協議、について要望を行った。

これに対し、石山課長は、要望事項について現状や考え方、総務省消防庁としての取り組み内容などについて答えた。

また、新型コロナウイルス感染症に対応するための感染防止資器材については、消防庁が国費により調達し、必要とする消防本部に配布してきた旨を説明した上で、①今後も丁寧な調査を行い、不足が生じないよう配布を行いたい、②情勢として第3波の予測を許さない状況であり、引き続き消防本部をサポートするため、供給体制を注視しつつ必要な支

援を続けていきたい、と述べた。

さらに、防疫等作業手当について、①消防・救急隊員への手当は、国家公務員への防疫等作業手当の特例に関する人事院規則が改正されたことをうけ各消防本部に対し、その内容と趣旨を踏まえ適切に対応することを要請したところ、②その後の国会での議論もあり、我々も数度にわたり消防本部にむけて要請を行っている、この間の対応について説明がなされた。

あわせて、③新型コロナウイルス感染症対応に従事した救急隊員等に対し各消防本部で新たに手当（防疫等作業手当等）を支給することを使途として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金」を活用できる旨が活用事例に明記されたことを踏まえ情報提供を行った、④最終的に条例化するの各市町村であるが、引き続き、こうした取り組みを行うことにより、消防救急隊員が安心して活動できる環境整備を働きかけたい、との考え方が示された。

その後、他の要望事項や現場における対応等に関する意見交換を行い、石山課長は「継続して様々な現場の声を聴いていきたい」と述べた。

最後に、武内衆議院議員の総括意見を踏まえ、今後意見交換・協議を行うことを確認し、この日の行動を終えた。全消協は引き続き、消防現場の実態を伝え、実状に即した政策提起を行い、職員が安心して職務に従事できる環境整備等にむけた取り組みを進めていく。

# 職場環境の改善とより良い消防行政の確立にむけて 自治労消防政策議員懇談会役員との意見交換会を実施

2020年12月2日、議員会館において、自治労消防政策議員懇談会役員との意見交換を行った。

議員懇談会からは、逢坂誠二衆議院議員（会長）、奥野総一郎衆議院議員（副会長）、吉川元衆議院議員（副会長）、武内則男衆議院議員（事務局長）および秘書の方々にも出席いただき、全消協からは村上会長以下四役が出席、自治労からは大嶋強化拡大局長、徳永政治局長にも出席いただいた。

冒頭、逢坂会長から「本来であれば議員懇談会を開催し、多く国会議員と消防現場の現状や新型コロナウイルス感染症への対策にあたっての施策等について意見交換をできればいいが、コロナ禍の状況を踏まえて最小限での意見交換とさせていただきます。消防現場の人たちは今本当に苦勞さされていると思う。特に救急搬送にあたっては、自らも感染の危険と隣り合わせでまさに最前線で活動されており、あらためて敬意を表する。現場では報道や我々が考える以上の困難を抱えながらの活動であるのが実態だと考えている。是非、率直にお話を聞かせていただき、国政においてできる限りの対応をしたい」と挨拶をいただいた。

次に村上会長が全消協、自治労を代表して挨拶し、「この間、消防職員はまさに現場の最前線で新型コロナウイルス感染症対応にあたって、やはり、現場で一番苦勞しているのが救急業務である。報道等でも多く

報じられている通り、感染が拡大するなか医療機関の受け入れがスムーズにできないことや、感染防止対応に苦慮しているところである。これらも含め、消防現場の現状と課題についてお話をさせていただきました。国民・住民の皆様が安心して生活していくためにもより良い消防行政の構築は不可欠であり、それを担う消防職員の職場・勤務環境改善は急務である。是非、自治労消防政策議員懇談会も含めて国政の場における対応をお願いしたい」と述べた。



続いて、吉村事務局次長から、①消防現場での感染防止策等に対する対応、②消防現場のハラスメント撲滅にむけた対応、③消防職員の団結権問題、について現状を踏まえた報告・提起を行った。

その上で、新型コロナウイルス感染症対応による傷病者の検査結果の情報共有や行政機関の連携、感染拡大に伴う更なる感染防止資器材の確保等や財源の課題などの必要性について意見交換を行った。さらにエッセンシャルワーカーとしての消防職員へのワクチン接種のあり方も含め、コロナ禍での消防を取り巻く課題に関する具体的な検討を政府に求めていくことを意思統一した。

さらに、消防現場のハラスメント問題、消防職員の団結権の問題についても、課題を共有した上で、次期通常国会では、多くの国会議員の方々との意見交換ができるよう、議員懇談会総会の開催について要望をおこない、意見交換を終えた。

# 参議院総務委員会において、 消防職員の処遇改善・ コロナ対策について、 岸まきこ参議院議員が質疑



めていく旨の答弁を  
引き出した。  
主な質問事項は以  
下の通り。

●緊急消防援助隊に  
係る出動手当等の  
状況把握

2020年11月17日の参議院総務委員会において、岸まきこ参議院議員（立憲民主党・自治労組織内議員）が大の所信表明に対する質疑にたち、緊急消防援助隊の諸条件や新型コロナウイルス感染症に対応する消防職員・消防行政に関して、政府に対し改善を求めた。

特に武田大臣からは、救急搬送困難事案について、感染者が増加傾向にあるため推移を注視し、厚労省など関係機関と連携しながら、各地域の消防機関が救急搬送を適切に行えるように必要な対応を進

- 緊急消防援助隊に係る出動手当等の自治体間格差の解消
- 緊急消防援助隊の訓練の在り方
- コロナ禍の複合災害に係る消防職員・消防団員の感染防止対策
- 感染防止対策に係る防護員の調達
- 救急搬送の「たらい回し」（救急搬送困難事案）解消の対策
- 救急搬送困難事案による弊害への対策
- 救急搬送の傷病者が感染症発症患者と診断された場合

●消防職員の職場環境の改善の対応

質疑に先立ち、全消協としてこれらの課題に関する考え方や、新型コロナウイルス感染症への対策等について意見交換をおこなうなど対応してきました。

引き続き、現場で働く消防職員が安心して職務に従事できるように、国会等の対策を強化していく。

会議録については、参議院のホームページに公開されている参議院会議録掲載情報を参照いただきたい。



# 自治労委員長と総務大臣との 消防職員の団結権に関する定例協議

自治労は、12月9日に武田総務大臣との定例交渉を行い、あわせて消防職員の団結権に関する定例協議を実施した。

冒頭、川本委員長は、以下の通り要請した。

①新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大するなか、消防職員は、より一層の緊張感を持って働いている。しかし、救急要請時に感染の有無が不明であることにより、随時対応が必要であることや、病院選定に時間を要することや、散見されるなど、救急体制がひっ迫しているのが現状である。さらに、感染防止資器材の確保も十分ではない中、現場では、感染リスクにさらされながら懸命な対応を続けている。命がけの現場で、職員が安心して職務に専念できるように、さらなる感染防止施策が喫緊の課題である。

②第107回ILO総会基準適用委員会における議長集約に基づき、総務省・消防庁と自治労・全消協との団結権問題に関する定期協議が行われている。引き続き、真摯な協議を求める。他

方、まさに現場で対応する職員の職場環境に目をむけると、依然としてパワー・ハラスメント等が頻発するなど厳しい職場実態が散見される。

職員が安心して働ける職場環境の整備が急務だ。そのためには「健全な労使関係」を確立することが不可欠であり、その方策は団結権の回復以外にはないことを強く指摘する。

これに対し、武田大臣は、感染防止資器材の確保など新型コロナウイルス感染症に対する消防庁としての取り組みを述べた上で、①救急搬送困難事案への対応について引き続き、厚労省など関係機関と連携しながら、抑制に向けた取り組みを進めていく、②コロナ禍においても、消防職員が安心して活動できる環境が整備されるよう、必要な対策を行っていく、

③消防職員の団結権を含む地方公



務員の労働基本権のあり方については、国家公務員についての動向を踏まえ、関係者のご意見をよく伺いながら対応していく、と回答した。

この間、全消協は自治労に対し、事務局を通じて定例協議の内容について要請しており、それも踏まえて発言がなされたものである。引き続き、全消協として自治労と連携し、団結権の回復や職場環境の改善に向け、省庁対策を講じていく。

# 「みんなの釧路市消防本部チャンネル」

## 北海道釧路市消防本部

### ユーチューブにチャンネル開設



釧路市消防本部(石山巖消防長)は動画投稿サイト「ユーチューブ」に、「みんなの釧路市消防本部チャンネル」を開設し、動画を使って市民に分かりやすく、「消防の仕事」をPRする活動を始めた。消防の広報動画は市役所のチャンネルにアップされる場合が多く、独自にチャンネルを持つている消防組織は、全国でも数十本部に限られ、北海道内では釧路市消防本部が初とみられる。

「出勤がないときはどうしているの」「日勤の職員は何をやっているの」。普段から家族や友人にそう聞かれることが多かった、本部へ異動

となった職員2名が、「業務内容の『見える化』が必要だ」と感じるようになり、動画でのPRを思いついた。

また、BGMはバンド経験を生かして全てオリジナルとなっている。今年11月に釧路市で開催予定の緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練のプロモーションビデオも完成。緊急消防援助隊についての分かりやすい動画となっている。

チャンネルは掲載のQRコードからアクセスできます。登録よろしくお願ひいたします！

# 2020年度 PSIIJC男女平等セミナー

2020年12月5日、2020年度PSIIJC男女平等セミナーが開催された。今年度は、コロナ禍のため、はじめて対面とウェブの併用開催となった。

全消協からは、永菜ユース代表、浅井ユース幹事、上野ユース幹事、畠山女性幹事、大原女性幹事、朽木麻里奈(西いぶり消防協)、真玉橋理(沖繩三ライ消防協)が参加した。

今回セミナーは、「コロナ危機が可視化したケアとジェンダーと公的労働」を生を包摂する社会へ」と「男性の育児参画」突っ迫している父親が社会を変える」をテーマに設定。それぞれ識者から講演を受けるとともに、PSIIJCユースネットワークが実施した「男性の育児参画アンケート」の総括が報告された。

全消協参加者からは、「男性の育児取得にはハード面の整備も必要だと感じた」「男性の育

児参加は上層部、トップの意識改革が重要であり、家庭にも職場にも良い影響を与えるため、職場環境の改善が必要だと感じた」「消防職場でも大きな課題であるため、この会議内容を生かして活動していきたい」「出産し本来ならイベントには参加できない時期だったが、今回はオンライン開催であったため参加することができた。泣き出した子供を抱っこしたり授乳をしたりしながら参加できたのがとても良かった」「今回のような内容のセミナーは妊娠中の方やお子さんが小さくてイベントへの参加が難しい方が参加したい内容だと思っ」などの感想が聞かれた。

引き続き、PSIIJCの中で構成組織とも連携し、消防職場が男女がともに働きやすい環境となるよう取り組みを進めていく。

## 自治労が2021春闘で「職場からのアピール動画コンテスト」を実施

～全消協会員も参加可能です！～

自治労は、コロナ禍の中で再認識されつつある「エッセンシャルワーク(なくてはならない仕事)」の重要性を、組織内と地域社会にアピールするために、2021春闘の行動の一つとして「公共サービスにもっと投資を！」キャンペーンを展開します。その一つとして、「スマホで撮影、スマホで編集、スマホで応募しよう」を合言葉に、「職場からのアピール動画コンテスト」を開催し、各組合・職場からの「1分動画」を募集します。

「大賞20万円」をはじめ、参加いただいた全グループに、必ず何らかの賞品が贈られます。



自治労の組合員だけでなく、全消協会員の方(単協)も参加可能であることから、積極的な応募をお願いします！

詳細は全消協発文中にてお送りします。



全国の消防職員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

ブロック幹事になり1年が経ちました。が、学んできたばかりで忙しく過ごしています。また新しい生活様式には慣れてきましたが、まだまだ今後の情勢に不安を持っています。一人ひとりが感染しないよう対策し過ごしていきたいです。

さて、先日あるドラマで「育児休暇が取れないこと自体が異常」と話しており、その後、男性の育児休暇所得に理解のない上司に対して「育児休暇はタメ、親の看護休暇、病欠休暇ならいいの」と言うことや、「休むことに何のデメリットがあるのか。いつ誰か長い休みを取るかわからない。働いてるのは人間なんだから」さらに「誰か休んでも仕事が回る、そして帰ってこられる環境を普段から作っておくことが職場におけるリスク管理ではないのか」と話しているシーンがとても心に残りました。

消防という職種はまだまだ休暇を取ることには理解のない上司がいるなど、取りにくい環境にあります。しかし、新しい生活様式を進めていくなら、新しい考え方も取り入れていくべきです。休暇を所得したい職員を応援できる職場環境作りをしていきましょう。

「コロナ禍で大勢の人が集まることは難しく在宅が多い現状ですが、協議会という横の繋がりです。いろいろな情報交換もでき、いろいろな情報から正しい知識を集める良い機会です。皆さんの職場環境を良くし、働きやすい環境をめざして、できることを頑張りましょう。

右門秀敏(東海ブロック幹事)

### 次回、全消協の予定

2021年3月 全消協県代表者会議

2021年未定 第51回労働講座

2021年未定 第3回ユースステップアップセミナー

※ウェブの活用等も含め鋭意検討中

## 最新の全消協活動を配信中です

ぜひアクセスや「いいね!」をお願いします。

全消協 ホームページ	全消協 公式Facebook	ユース部 公式Facebook	女性連絡会 公式Facebook